

### 3. 帰宅困難者・滞留者

地震発生時、公共交通機関が止まり、多数の帰宅困難者や滞留者が発生することが予想されます。区内で発生する「帰宅困難者」、鉄道の「駅別滞留者」、主要道路の「道路別滞留者」に分けてそれぞれシミュレーションを行いました。

#### 3-1. 帰宅困難者

帰宅困難者は、通勤・通学等で杉並区へ滞在している人のうち、公共交通機関の停止等で自宅へ帰宅することが出来なくなってしまう人数を推定しました。（平日、14時台）推定には、徒歩で帰宅可能な割合を考慮しています。

なお、帰宅困難となった場合は、むやみに移動をせず、安全確認を行った後、ある程度の期間はその場所に留まっていられるよう対策を準備しておくことが重要です。

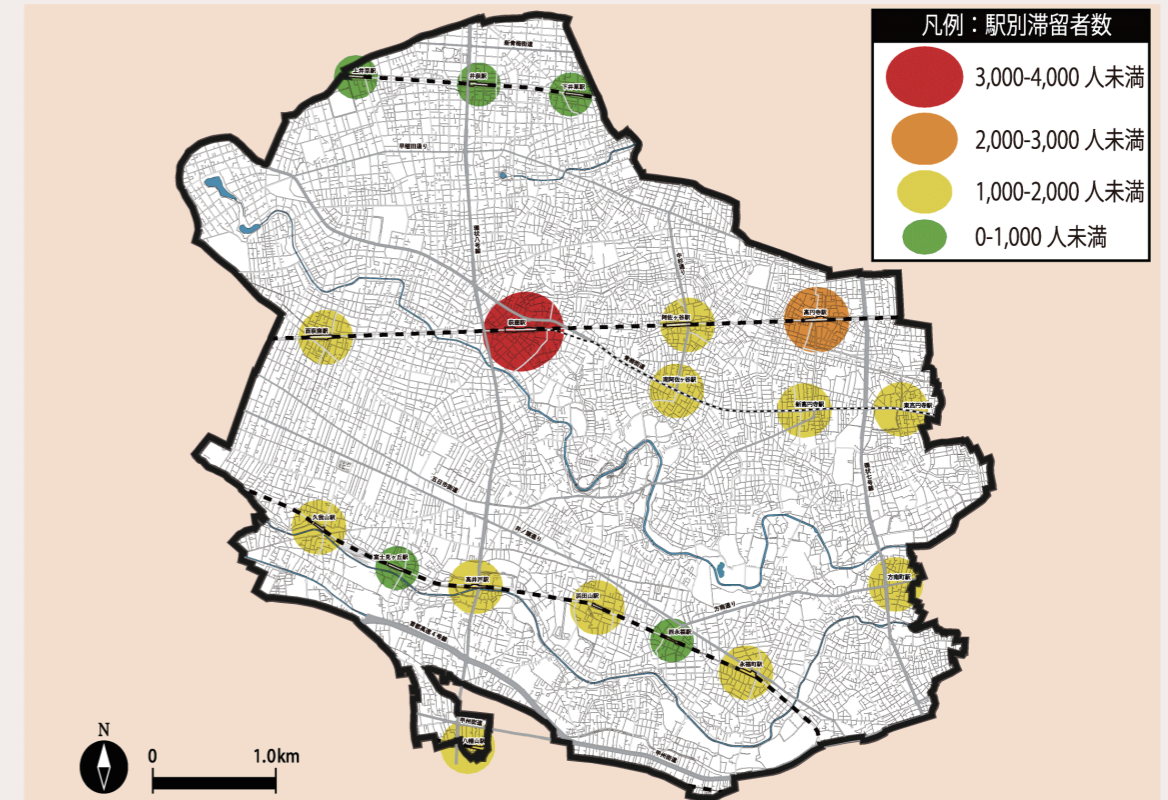
**帰宅困難者数 : 16,103人**



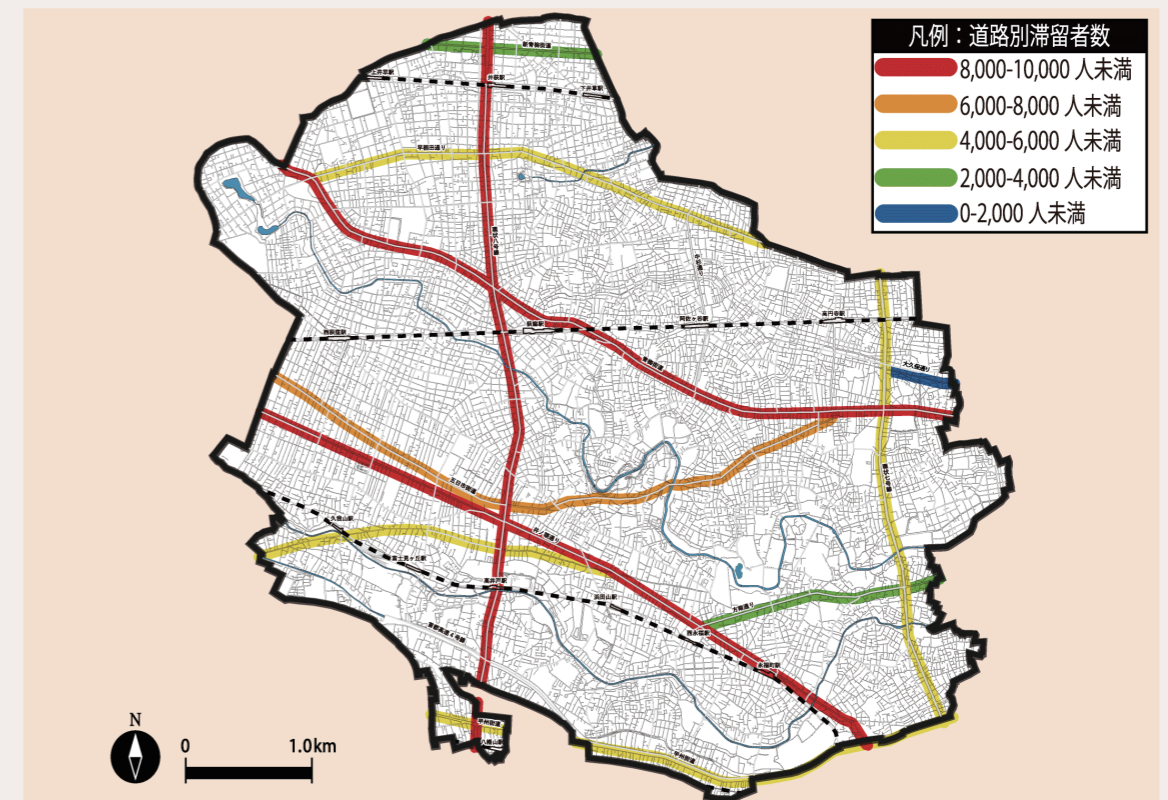
引用：東京都帰宅困難者対策ハンドブック

#### 3-2. 滞留者

駅別滞留者数は、駅の乗降客数をもとに、平日、14時台で駅周辺に滞留している人数を推定しました。また、道路別滞留者数は、道路車線ごとに23区内から徒歩帰宅等で区内を移動中の人数を推定したものです。いずれの滞留者数も帰宅途中や移動中の人数を含んでおり、すべてがその場に留まり続ける人数という意味ではありません。



**駅別滞留者数 : 30,174人**



**道路別滞留者数 : 61,122人**